

未利用魚の活用

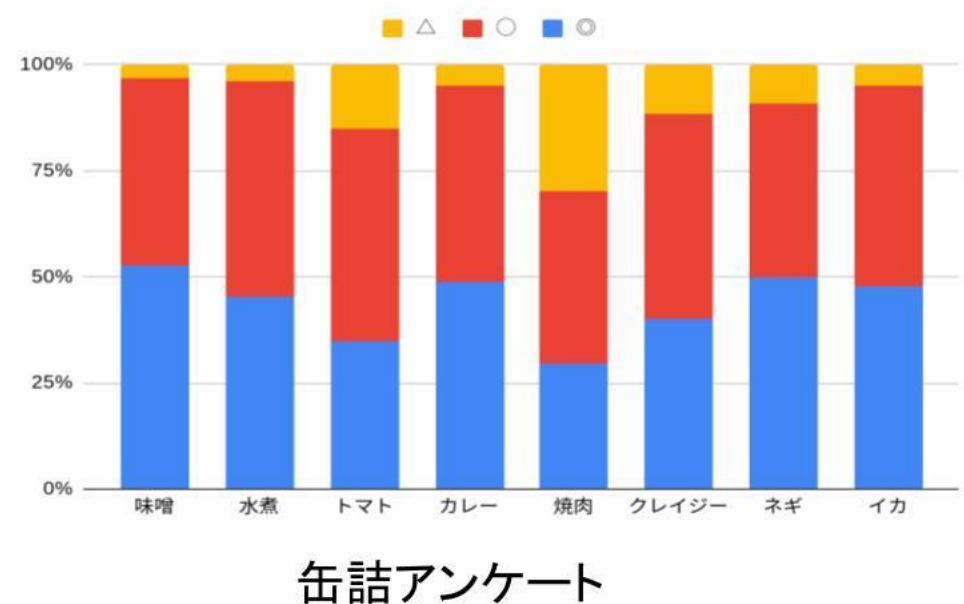
秋田県立能代高等学校（原田わかば、今野魅羽、北林和心）

1 目的

サイズが規格外だったり、一般に知られていないことで買われないといった理由で市場にあまり出ない未利用魚を利用した商品を作り、販売することによって、未利用魚の存在を知ってもらうためにこの活動を行っている。

2 取組内容

秋田県沿岸北部の八森漁港で捕獲された未利用魚を利用した缶詰を作るために、秋田県立男鹿海洋高等学校に協力して頂いた。8種類の缶詰を作り、能代産業フェアというイベントで試食会を行った。試食会では客観的な意見を知るためにアンケートをとった。



3 結果

秋田県には缶詰の加工所がなく、秋田県立男鹿海洋高校に依頼して試作品はできたが、販売することができないことが分かった。未利用魚の新商品開発をするには、レトルトパウチにする方法しかないことを知り、現在はレトルトパウチの商品開発の方向で活動をしている。

4 考察・まとめ

未利用魚を利用した商品を販売することによって、未利用魚の知名度が上がり、レトルトパウチ以外にも様々な方法で活用して下さる企業が出てくる可能性がある。私達はそうなることを目指して、これからも商品開発に全力で取り組んでいきたい。